

工業用水

西三河工業用水道事業

衣浦臨海工業地帯並びにその背後地の工場に工業用水を供給するため、矢作ダムに水源を求め、日量300千 m^3 規模の事業で、1970年度から浄水場や管理設工事に着手しました。

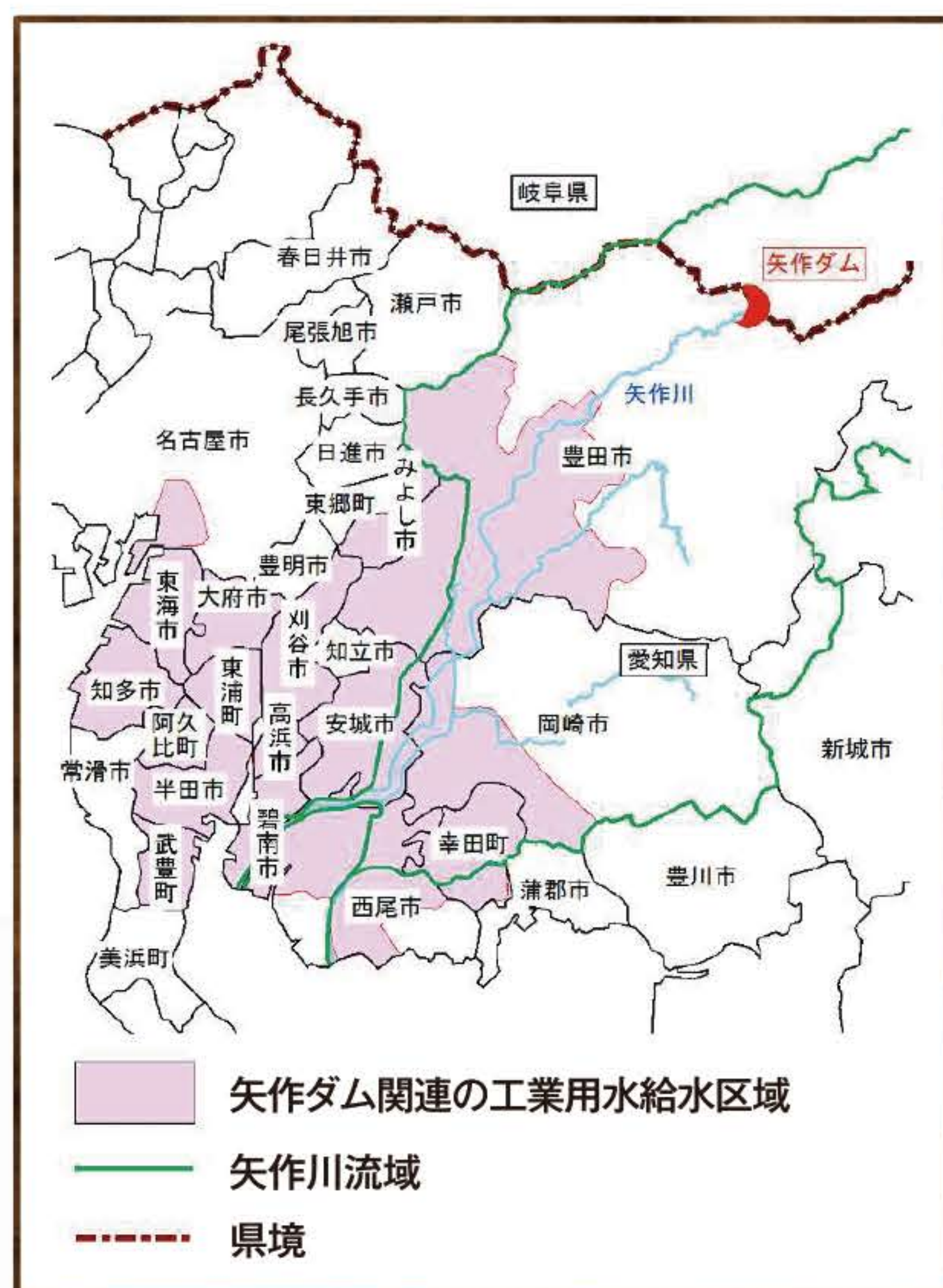
その後、豊田市を中心とする西三河内陸部において、輸送機工業等の急速な発展に伴い工業用水の需要が増加したため、給水区域を拡大し、日量300千 m^3 のうち100千 m^3 をこの地域にも給水するよう計画を変更して1974年度から工事に着手しました。1975年5月安城浄水場から衣浦臨海部に給水を開始し、次いで1977年5月から西三河内陸部に給水を開始しました。

さらに、岡崎市を始めとする矢作川左岸地域にも給水区域を拡大して、給水しています。



安城浄水場(2018年8月撮影)

名称	所在地	現在給水能力 $\text{m}^3/\text{日}$	完成時給水能力 $\text{m}^3/\text{日}$	給水区域 (給水先事業所数)
安城浄水場	安城市	300,000	300,000	岡崎市のうち矢作川以東で一般国道1号以南及び矢作川以西の区域、半田市、碧南市、刈谷市、豊田市のうち2005.3.31における豊田市の区域、安城市、西尾市のうち2011.3.31における西尾市及び旧吉良町の区域、高浜市、みよし市、東浦町、武豊町、幸田町 131事業所(2021年4月1日現在)



名称	所在地	現在給水能力 $\text{m}^3/\text{日}$	完成時給水能力 $\text{m}^3/\text{日}$	給水区域 (給水先事業所数)
上野浄水場	東海市	172,800	172,800	名古屋市港区のうち堀川以東の区域及び南区のうち東海道本線以西の区域、豊田市のうち2005.3.31における豊田市の区域、東海市、大府市、知多市、みよし市、阿久比町、東浦町 106事業所 (2021年4月1日現在)
知多浄水場	知多市	472,800	472,800	
尾張東部 浄水場(東郷)	愛知郡東郷町	200,000	200,000	
計	—	845,600	845,600	

水道用水

愛知県水道用水供給事業

岡崎市、豊田市をはじめとする矢作川沿岸の西三河地域の諸都市は、名古屋市の人口拡散による人口増加、さらには内陸工業の進展により、水道用水の需要が高まり、水源の確保、水道施設の拡充が急務となりました。

このため県では、矢作ダムを水源として西三河水道用水供給事業を実施することとし、1967年度から専用施設の建設に着手して、1971年に幸田浄水場から、1972年には豊田浄水場から一部給水を開始しました。1981年度からは、県内の他地域の水道用水供給事業と統合し、愛知県水道用水供給事業として実施しています。現在の2浄水場の1日給水能力は最終能力の320千 m^3 です。

名称	所在地	現在給水能力 $\text{m}^3/\text{日}$	完成時給水能力 $\text{m}^3/\text{日}$	給水対象
豊田浄水場	豊田市	231,000	231,000	岡崎市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、幸田町、愛知中部水道企業団(みよし市)
幸田浄水場	額田郡幸田町	89,000	89,000	
計	—	320,000	320,000	6市、1町、1企業団



豊田浄水場(2018年8月撮影)



幸田浄水場(2018年8月撮影)



水道用水・工業用水

矢作ダムは水道用水や工業用水の水源として、西三河地域の発展に大きく貢献してきました。

【愛知県企業庁】 愛知県水道用水供給事業・西三河工業用水道事業・愛知用水工業用水道事業

